

政策集団である自由民主党岡山市議団による 大森市長への政策提言(概要)

自由民主党岡山市議団は、岡山市の未来を考え、発展し続ける未来の礎となる令和6年度の予算編成に向けた政策の提言を行い、令和6年11月20日に大森市長へ提言書を手渡しました。

主な提言

●新たな防災訓練

- ・孤立集落を想定したドローン訓練の実施
- ・窓口業務を想定した訓練の実施
- ・ボランティアセンターの設置訓練の実施

●#7119の導入

- ・救急需要対策として効果のある「#7119」の早期導入

●防犯灯、防犯カメラ

- ・町内会の負担軽減を図るための補助制度の拡充

●岡山駅の東口広場整備

- ・バス上屋と修景ゾーン整備を含め、他都市に劣らない広場整備の推進

●生活道路の維持管理強化

- ・予算を増額し、生活道路の維持管理強化

●ハレノワの利便性向上

- ・タクシー迎車の実現検討

●不登校児童生徒支援対策

- ・心のケアを重視した対策の強化
- ・児童・生徒支援教室(通学者5名以下)の民間事業者と協力した運営方法の検討
- ・フリースクールの保護者負担金の一部公費助成
- ・学びの多様化学校(不登校特例校)の新設

●給食費の無償化

- ・岡山市において光熱費等は公費で支援
- ・食材費を含め給食費の無償化を国へ訴えていく

●子どもたちの暑さ対策

- ・スクールバス登校の距離の見直し
- ・子どもたちの登下校時の実態調査の実施
- ・各小中学校に冷水器の設置と、ミストシャワーの導入検討
- ・児童クラブの熱中症対策として指定医制を導入する等、より一層の健康管理に配慮
- ・児童クラブのプレハブ教室に遮光シート等を設置する等の夏季の暑さ対策の実施

●放課後児童クラブの待機児童解消策

- ・協力していただいている民間事業者への支援拡充
- ・市立および運営委員会方式クラブの支援員確保策の検討

田口ひろし事務所

〒701-0221 岡山市南区藤田2172

TEL 086-296-6348 FAX 086-296-4735

※市政、地域のことについてご相談がございましたら、お気軽にご連絡ください。

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます

また、平素から市政ならびに市議会に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、オリンピック・パラリンピックの開催により、南区出身選手をはじめ本市にゆかりのある多くの選手が目覚ましい活躍を見せ、皆様と大きな喜びと感動を分かち合うことができました。また、開館した岡山芸術創造劇場ハレノワによるにぎわいの増加や岡山駅前広場改修工事の進展、そしてなによりも、コロナ禍を乗り越え市内各地でさまざまな地域行事が再開され、多くの子どもたちの笑顔に出会うことができた年でもありました。

しかしながら、少子高齢化、物価高騰、さらには自然災害など、私たちの生活環境はいまだ大きな影響を受けており、子どもから高齢者の皆様まで、すべての方々が未来に希望を持ち、明るく、いきいきと暮らしていける地域づくりが、これまで以上に求められております。

これからも皆様おひとりおひとりの声を大切に、岡山市の限りない発展に向け全力をもって自らの責務を果たしてまいりますので、どうか皆様には今後とも温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、輝かしい一年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



全国市議会議長会 指定都市協議会 会長への就任

令和6年4月に会長を拝命し、同年11月、財務大臣をはじめ国に対し「多様な大都市制度の早期実現」等の要望を行いました。

各指定都市議会との協議を重ね、大都市特有の課題の共有と解決を目指すとともに、地方都市のけん引役として、活力に満ちたまちづくりを図ってまいります。



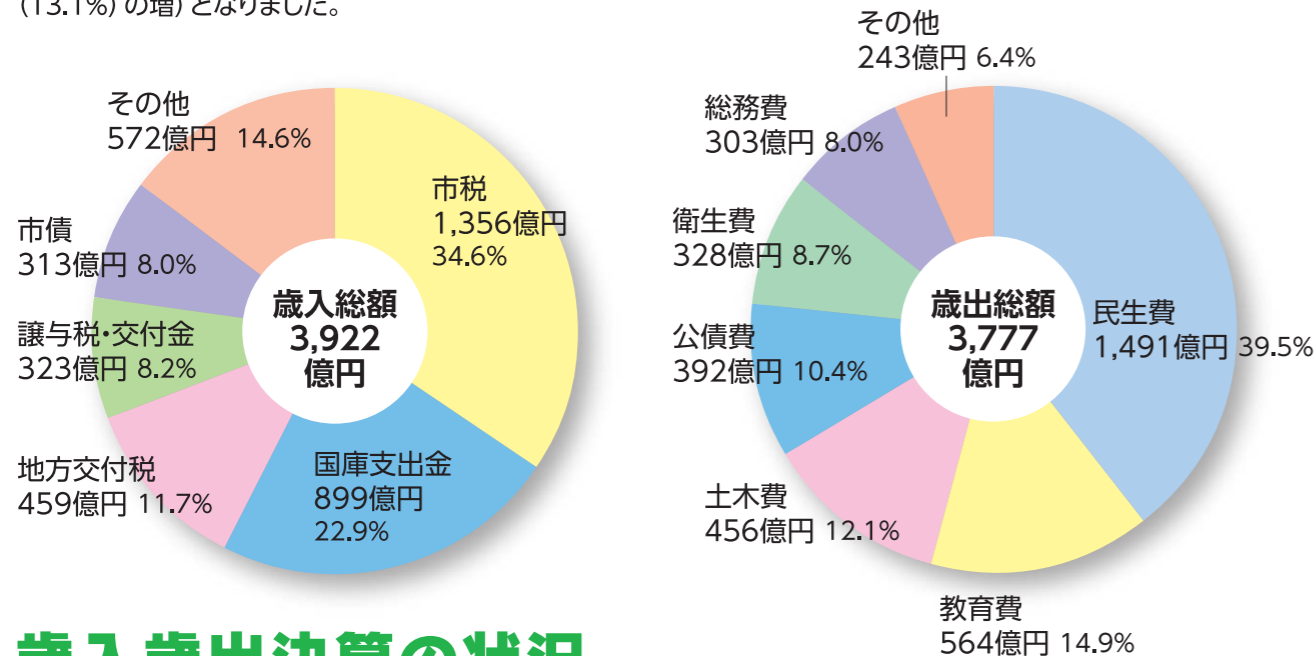
全国市議会議長会 国と地方の協議の場等に関する調査特別委員会 委員長への就任

令和6年5月に委員長を拝命いたしました。人口減少問題、子育て支援、雇用環境など、全国各地におけるさまざまな課題について、地域に根差した活動を行っている市議会議員の目線できりまとめ、解決に向けて力強く国との協議を行ってまいります。



岡山市の令和5年度決算(概要)

令和5年度決算の歳入総額は、地方税や地方交付税の増加などにより、前年度比11億23百万円増の3,921億69百万円となり、一方歳出総額は、物価高騰重点支援給付金や子ども医療費の公費助成などの扶助費の増加などにより、前年度比19億23百万円増の3,777億41百万円で、歳入歳出差引額(形式収支額)は144億28百万円となりました。この額から翌年度への繰越財源を除いた実質収支額は108億12百万円の黒字(前年度比12億49百万円(13.1%)の増)となりました。



歳入歳出決算の状況

歳入

- 地方税は1,356億26百万円となり、前年度比で23億6百万円(1.7%)の増となりました。これは個人市民税の所得割の増加や、新築家屋や設備投資の増により固定資産税が増加したことなどによるものです。
- 国庫支出金は898億30百万円となり、前年度比で2億24百万円(0.2%)の増となりました。これは電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金に係る補助金が減少した一方、物価高騰重点支援給付金に係る交付金が増加したことなどによるものです。
- 地方交付税は459億32百万円となり、前年度比で42億91百万円(10.3%)の増となりました。これは地方交付税の財源となる国税収入が増額補正されたことなどによるものです。

歳出

- 民生費は1,491億11百万円となり、前年度比で52億93百万円(3.6%)の増となりました。これは物価高騰重点支援給付金などの物価高騰対策関連経費や子ども医療費助成制度拡充に伴う経費、障害者支援に要する経費が増加したことなどによるものです。
- 教育費は563億79百万円となり、前年度比で14億98百万円(△2.5%)の減となりました。これは認定こども園整備費に要する経費が増加した一方、学校教育施設整備基金に係る事業費が減少したことなどによるものです。
- 土木費は455億84百万円となり、前年度比で26億44百万円(6.1%)の増となりました。これは国補道路新設改良事業費や都市交通戦略推進事業費が増加したことなどによるものです。
- 衛生費は328億42百万円となり、前年度比で44億44百万円(△11.9%)の減となりました。
- 総務費は303億36百万円となり、前年度比で27億79百万円(△8.3%)の減となりました。これは新庁舎整備事業費に要する経費が増加した一方、岡山芸術創造劇場整備事業費に係る事業費が減少したことなどによるものです。

令和5年度決算の主な事業

【街を楽しむ】

- 歩いて楽しいまちなかの空間創出(下石井公園芝生化など) 1億50百万円
- 岡山芸術創造劇場ハレノワの開館 10億4百万円
- 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備 14億27百万円
- バリアフリー化の推進 11百万円
(ノンステップバス、ユニバーサルデザインタクシーの導入補助など)



岡山芸術創造劇場ハレノワの開館

【地域の振興】

- 活力ある農業の振興(ナスやイチゴのスマート農業推進) 1億8百万円
- 文化財と観光の融合による新たな魅力づくり 2億15百万円
(岡山城や児島湾干拓等の観光歴史ストーリーを発信するなど)
- 環状道路の整備等道路ネットワークの充実・強化 39億90百万円
- 国直轄事業負担金(岡山環状南道路など) 25億51百万円
- 新たな生活交通の確保(迫川などでデマンドタクシーを運行) 18百万円



笹ヶ瀬令和橋・外環状線整備の整備

【子育て・教育】

- 子育て環境の施設整備 30億22百万円
(浦安・芳泉認定こども園(R6.4開園)、南輝認定こども園(仮称)(R9.4開園)などを整備)
- 放課後児童健全育成の促進(平福、芳明などで児童クラブを整備など) 29億21百万円
- 子ども医療費助成 20億59百万円
(R6.1月から通院医療費は、小学生は無料、中高校生は1割負担にするなど)



浦安芳泉認定こども園の整備

【安全・安心なまちづくり】

- 南消防署に水難救助訓練施設を整備(R6に完成) 4億5百万円
- 南消防署妹尾出張所を整備(R5は実施設計、R6に建設) 34百万円
- 浦安排水区の雨水幹線を整備(R6供用開始) 7億32百万円

令和5年度の物価高騰・新型コロナウイルス感染症対策

経済対策や市民生活支援策について、迅速かつ積極的に実施しました。

- 地域経済活動と市民生活に対する支援 164億22百万円
(主な事業) 住民税非課税世帯等への価格高騰重点支援給付金25億84百万円
スマートフォン決済ポイント還元(8月実施) 15億59百万円
省エネ機器更新緊急支援(実施中) 4億75百万円
LPガス利用者支援(10月、11月分が対象) 3億74百万円
学校給食費の保護者負担を軽減(実施中) 2億50百万円
地域公共交通応援(路線バス等の無料DAYを実施など) 1億49百万円
- 感染拡大防止等 34億81百万円
(主な事業) ワクチン接種体制の確保19億59百万円